



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス  
 コード番号 3753 URL <http://www.flight-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 圭一郎

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松本 隆男

TEL 03-3440-6100

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	659	—	△65	—	△67	—	△67	—
26年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △67百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△7.19	—
26年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成26年3月期第2四半期につきましては、四半期連結財務諸表を作成していないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	1,371	490	35.8	51.87
26年3月期	1,472	558	37.9	59.06

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 490百万円 26年3月期 558百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	9.9	200	11.6	180	8.6	164	7.8	17.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	9,456,500 株	26年3月期	9,456,500 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	829 株	26年3月期	829 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	9,455,671 株	26年3月期2Q	8,481,839 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成26年3月期第2四半期の期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う反動減がみられるものの、全体としては緩やかな回復基調にあります。顧客側のIT投資意欲にも回復傾向がみられます。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客向けのシステム開発や社会保障・税番号(マイナンバー)対応に係るシステム開発支援等を行うとともに、iPhone/iPad/Windowsタブレットを利用した電子決済ソリューション(「Incredist」及び「ペイメント・マイスター」)の販売・提案活動に注力致しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は659百万円となりました。損益につきましては、当社グループは売上が下半期に偏る傾向にあり、上半期は固定費負担の影響が大きいため、当第2四半期連結累計期間の営業損失は65百万円、経常損失は67百万円、四半期純損失は67百万円となりました。

(単位：百万円)

		当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 累計期間(*2)	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	C & S 事業(*1)	281	306	△25	△8.2%
	サービス事業	378	782	△403	△51.6%
		659	1,088	△429	△39.4%
営業損益	C & S 事業(*1)	△6	16	△23	—
	サービス事業	43	233	△189	△81.3%
	全社	△102	△94	△7	—
	営業損益	△65	155	△220	—
	経常損益	△67	137	△204	—
	四半期純損失	△67	138	△206	—

(\*1) C & S 事業：コンサルティング&ソリューション事業

(\*2) 前第2四半期につきましては、四半期連結財務諸表を作成していないため、参考値として四半期財務諸表の数値を記載しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① コンサルティング&amp;ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、既存顧客を中心としたシステム開発及び保守、自治体向けのコンサルティング、並びに社会保障・税番号(マイナンバー)対応に係るシステム開発支援等を行いました。売上及び営業損益は計画を下回って推移しましたが、下期に向けて、引き合い状況は堅調であります。

以上の結果、売上高は281百万円、営業損失は6百万円となりました。

## ② サービス事業

サービス事業においては、iPhone/iPad/Windowsタブレットを利用した電子決済ソリューション(「Incredist」及び「ペイメント・マイスター」)の販売・提案活動に注力致しました。

前期納品した大型案件の追加受注及び保守対応により、売上及び営業利益は概ね計画通り進捗しております。以上の結果、売上高は378百万円、営業利益は43百万円となりました。

(注) 前第2四半期は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ101百万円減少し、1,371百万円となりました。主な増減要因は、売掛金の減少(20百万円減)及び現金及び預金の減少(91百万円減)であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ33百万円減少し、880百万円となりました。主な増減要因は、借入金の返済による減少(35百万円減)であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ67百万円減少し、490百万円となりました。主な増減要因は、四半期純損失の計上(67百万円)であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね当初計画通りに進捗していることから、平成26年5月19日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結事業予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	974,563	883,081
売掛金	166,342	145,804
商品	6,788	13,899
仕掛品	1,852	24,963
その他	61,078	38,772
貸倒引当金	△300	△200
流動資産合計	1,210,324	1,106,321
固定資産		
有形固定資産	1,911	6,585
無形固定資産	1,562	1,400
投資その他の資産		
長期貸付金	75,000	75,000
投資不動産(純額)	219,604	219,028
その他	39,491	38,026
貸倒引当金	△75,000	△75,000
投資その他の資産合計	259,095	257,055
固定資産合計	262,569	265,041
資産合計	1,472,893	1,371,363
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	32,303	52,911
短期借入金	541,162	510,092
未払法人税等	25,146	3,646
その他	67,303	71,335
流動負債合計	665,915	637,985
固定負債		
長期借入金	235,540	231,094
その他	12,979	11,786
固定負債合計	248,519	242,880
負債合計	914,434	880,866
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	△1,841,188	△1,909,150
自己株式	△1,275	△1,275
株主資本合計	558,458	490,496
純資産合計	558,458	490,496
負債純資産合計	1,472,893	1,371,363

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	659,347
売上原価	507,500
売上総利益	151,847
販売費及び一般管理費	217,183
営業損失(△)	△65,335
営業外収益	
受取利息	802
受取賃貸料	1,066
為替差益	5,594
その他	71
営業外収益合計	7,535
営業外費用	
支払利息	6,352
不動産賃貸原価	2,625
その他	362
営業外費用合計	9,340
経常損失(△)	△67,141
税金等調整前四半期純損失(△)	△67,141
法人税、住民税及び事業税	821
法人税等合計	821
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△67,962
四半期純損失(△)	△67,962

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△67,962
四半期包括利益	△67,962
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,962

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△67,141
減価償却費	1,713
支払利息	6,352
売上債権の増減額(△は増加)	20,537
たな卸資産の増減額(△は増加)	△29,690
仕入債務の増減額(△は減少)	20,608
その他	17,924
小計	△29,694
利息及び配当金の受取額	802
利息の支払額	△6,315
法人税等の支払額	△20,857
営業活動によるキャッシュ・フロー	△56,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△5,650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,650
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△31,070
長期借入金の返済による支出	△4,446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,516
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,749
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△91,481
現金及び現金同等物の期首残高	974,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	883,081



## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

四半期連結財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション事業	サービス 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	281,049	378,298	659,347	—	659,347
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	281,049	378,298	659,347	—	659,347
セグメント利益又は損 失(△)	△6,894	43,732	36,837	△102,173	△65,335

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△102,173千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。